

THE RECORD 2

1999
No.478

- 99年需要拡大キャンペーン「20世紀を聴こう」決定
- 第14回日本GD大賞開催日決定
- 著作権法100年特集 第2回
- 統計資料—1999年上半期新譜数

RIA

Recording Industry Association of Japan

99年度需要拡大キャンペーン

99年度需要拡大キャンペーン “20世紀を聴こうキャンペーン” 決まる

当協会では、1999年度の需要拡大施策として、本年が2年後に21世紀を迎えるという大きな意味を持つ年と意義付け、昨年度実施の需拡事業「国際音楽の日・We Love Musicキャンペーン」のような懸賞による意識付けキャンペーンではなく、より直接的に中高年層の購買意欲を掘り起こして、レコードの需要拡大を図るために、キャンペーン参加各社が過去のヒット曲をコンピレーションアルバムに纏め新たな企画商品を作り、全メーカーで110タイトル程度の品揃えで展開する「20世紀を聴こうキャンペーン」を本年11月3日から2000年2月末までの約4ヶ月間に亘って展開することを決定しました。

当該キャンペーンの具体的な企画内容については、当協会需要拡大委員会にて検討され、次の通り実施概要が決まりました。

◆「20世紀を聴こうキャンペーン」について

1. 目的：年末年始の拡売期にキャンペーン参加各社がヒット作品を新たに編集・発売し、宣伝販促、キャンペーン用統一シールの参加商品への貼付、その他各種施策を共同して実施する事によって、店頭への顧客誘因、需要拡大の一助とすること、並びに旧音源の再活用、活性化を目的としています。

2. 概要：

(1) キャンペーン名称

キャンペーンタイトル

20世紀を聴こうキャンペーン

サブタイトル

総額2,900万円のプレゼントキャンペーン

アイキャッチコピー

20世紀ベスト

(2) キャンペーン期間＝

1999年11月3日～2000年2月末日（応募締切）

(3) 参加商品＝各社が同ジャンルの曲をまとめたコンピレーションアルバムを基本とし、11月3日～明年1月末日発売までの商品とします。また、対象全商品には「キャンペーン統一シール」を貼付して、当該キャンペーンと実施期間をアピールします。

(4) 音楽ギフトカード・プレゼントコースへの応募はがきをキャンペーン参加商品に封入します。

(5) 発売日＝第1回発売日：11月3日（以降順次発売）

(6) 発売タイトル数＝111点（予定）

(7) ユーザー景品＝参加商品に封入してある統一の応募はがきで、アンケートにお答えの上キャンペーンに応募された方の中から抽選で「音楽ギフトカード」を総額2,900万円分プレゼントします。

景品総額…「音楽ギフトカード」2,900万円分

〔プレゼントコース〕

- ①「音楽ギフトカード」3千円分を5,000名に
（応募資格・キャンペーン商品1枚以上購入者）
- ②「音楽ギフトカード」3万円分を300名に
（応募資格・キャンペーン商品3枚以上購入者）
- ③「音楽ギフトカード」5万円分を100名に
（応募資格・キャンペーン商品5枚以上購入者）

(8) 宣伝広告

- a. 新聞全国紙
- b. 雑誌広告
 - ・週刊文春
 - ・CDジャーナル
 - ・週刊SPA!
 - ・オリコン THE ICHIBAN
- c. AM番組タイアップ
- d. パブリ（新聞、雑誌、TV、FM）
- e. 有力書店店頭におけるパンフレット配布

(9) 店頭対策＝店頭告知キット作成

以上



日本のレコード産業PDF版制作 他

日本のレコード産業99年版（日本語版） PDF版について

「日本のレコード産業 99年版（日本語版）」のPDF版を制作致しました。当協会ホームページに掲載しております。また、閲覧にはAcrobat Reader3.0以上が必要ですが、これは無料で入手可能です。

なお、PDFファイルの掲載先は、下記アドレスです。

<http://riaj-japan-music.or.jp/media/default.htm>

是非ご活用ください。なお、ご利用の際は、ファイルのダウンロードをお勧めします。（ファイル容量は約600KB）

※PDF(Portable Document Format)

アドビシステム社が提唱している統一ドキュメントファイル形式です。印刷可能なソフトでつくられたファイルはすべてPDFファイルに変換でき、元のデータの1/10～1/40に圧縮されます。PDFファイルを読むには、Acrobat Readerというソフトを使用しますが、これは無料でダウンロードできます。

DVDオーディオ・プロモーション ・コンファレンス開催

次世代オーディオの一つのフォーマットであるDVDオーディオの説明会が、銀座8丁目の日本ビクターショールーム“ビクター28'S G I N Z A”で8月23日（月）に開催されました。午後2時から制作現場の方を中心とした第1部、そして午後4時から各社代表者及び法務担当の方を対象とした第2部が行われました。当協会からは富塚副会長が第2部、技術部北村部長が第1部の来賓として挨拶しました。

第6回FMフォーラム

FMフォーラム実行委員会主催、当協会・社団法人音楽出版社協会後援による第6回FMフォーラムが、以下の要領で開催されます。

日 時：11月5日（金）13:00～（予定）

会 場：八芳園

内 容：パネルディスカッション、
パーティー&ライブ他

今年は1日開催となり、例年以上に中味の濃い、充実したイベントになるよう準備中です。

1999年レンタル店調査報告まとまる

当協会では、毎年全国のCDレンタル店の実態を把握

する為に、全店調査を実施しています。16回目の本年も、3月から6月にかけて当協会調査委員による全国4,235店の店舗調査を行い調査報告書としてまとめました。

この報告書によると、CDレンタル店の店舗数は今年6月末現在4,264店で前年比2.5%減、89年末の6,213店をピークとしたCDレンタル店の緩やかな減少傾向は今年も継続しています。また、今年6月までの半年の間に、新規開業店は174店、閉店は241店と、415店が入れ替わっており、ここ数年店舗の入れ替わりは年間1,000店のペースが続いています。

90年以降、減少する店舗数とは反対に店舗面積は拡大を続けています。店舗全体の面積（他の売場を含む）を見ると455㎡で前年に比べて8%増となっていますが、CDレンタルコーナーの面積は、96年以降横這いになっています。これは、ビデオレンタル（180㎡、前年比8%増）以外に、新品・中古CD販売、書籍、ゲームソフト販売も兼業する大型複合店の出店が増えてきているためと思われます。なお、兼業の状況はビデオレンタルを兼業している店舗が全体の97.3%（前年96.7%）、書籍販売38.5%（前年36.1%）、中古CD販売93.6%（前年92.8%）、ゲームソフト販売34.4%（前年24.8%）となっており、益々複合化が進んでいますが、CDレンタル専門店が2.7%（前年3.3%）まで減少しています。

CDの総在庫数はここ数年アルバムは横這い、シングルは順調に増加していましたが、本年の調査ではアルバムが僅かながら減少し、シングルは対前年比9.4%と大幅に減少しました。また、1店舗当たりの平均在庫数もアルバム・シングル共に減少し、合計在庫数も95年以来4年振りに1万枚を切りました。

今回の調査結果から、店舗全体の面積、兼業率などは増加を続けていることが分かりますが、CDレンタルのみを見た場合、CDレンタルコーナーの面積は横這いとなっており、店舗数及び在庫数の減少等、CDレンタル業は、全体的に縮小傾向となっています。

なお、詳しい調査内容については8月20日発行の「THE RECORD-EX No.8」の特集として掲載されておりますので、こちらも是非ご参照下さい。

第14回日本ゴールドディスク大賞授賞式 開催日決定

当協会主催の第14回日本ゴールドディスク大賞授賞式が、2000年3月15日（水）に東京・渋谷区のNHKホールにて開催されます。授賞式では今年も受賞アーティストによるライブ演奏が行われる予定です。

また、当日の授賞式の模様は、NHKで放送される予定です。

著作権法100年特集

権利のためのたたかい小史

山下邦夫(元(社)日本レコード協会著作権部長)

先月号に引き続き、当協会の元著作権部長である山下氏寄稿の後半部分を掲載します。

なお、この文章は「コピーライト」6月号に掲載されたものです。

⑤不法複製版の排除

1970年代(昭和45年頃)複写、複製技術の発達とこれらの機器の普及に伴う音楽テープの急速な普及は、LP、EP時代には皆無であった不法複製版いわゆる海賊版テープの出現を容易にした。

レコード各社は複製権侵害として、刑事告訴により対処し、いずれも被告人有罪の判決を築いた。

次に、主なケースを挙げてみることにする。

1972年(昭和47年)東京地裁、原告ポニー。名古屋地裁、原告アポロン、日本ビクター。同地裁、原告テイチク。横浜地裁、原告日本ビクター。

1974年(昭和49年)大阪地裁、原告日本コロムビア他14社の事件は、大阪南区日本橋の電機店街の各電機店店頭に軒並各レコード会社のヒット曲を混成したカセットテープ海賊版が同時期大量に出現したもので、製造犯人の追及に明け暮れていたとき、海賊テープのレーベル印刷工と称する者からレコード協会に密告の電話があり、報酬引き換えに情報提供の申し出があった。松井弁護士と事務局職員が、急遽、本人が指定する年末の一日大阪に向き、T社大阪営業所の一室でT社テープ営業部長とともに深夜12時近く現れた(約束は9時が延引)本人から、証拠の印刷物とともに印刷所責任者の情報を得た。同責任者の住所へ案内するという本人の申し出を断り(深夜の危険から)、翌朝その住所を確認した上で、後日、情報を整理し大阪府警に提訴した。

電機店の一斉捜索により多数の海賊テープが押収された。電機店責任者も取り調べを受けたが情を知らずとして起訴は免れた。印刷所から製造犯人も判明し、被告人3名に有罪判決が出た。

密告者は印刷所の社員で、社長独りがボロ儲けをしていることが不満であったことが後日大阪府警から知らされた。

1975年(昭和50年)札幌地裁、原告日本コロムビア他、被告3名、1法人。

1978年(昭和53年)大阪地裁、原告日本コロムビア他、被告5名。

1983年(昭和58年)東京地裁八王子支部、原告キン

グ、テイチク、被告6名。

1984年(昭和59年)旭川簡裁、原告日本コロムビア他、被告4名、2法人。

日本レコード協会は、不法複製版の市場からの排除を目的とし、損害賠償や和解による民事の解決を避け刑事事件一筋に不法行為の処罰に徹していた。

⑥「同期の桜」事件

第2次世界大戦の戦時中から戦後にかけて、人々に広く歌唱され、各レコード会社からレコードとして発売された「同期の桜」について、原告Y氏は、「同期の桜」は1944年(昭和19年)6月頃海軍軍人として勤務中「神雷部隊の歌」として、作詞、作曲した自分の作品の無断使用であるとして、1980年(昭和55年)3月、製造頒布の差止めと慰謝料の支払を求めて、日本コロムビア等6社を東京地裁に訴えた。被告となったレコード各社は、事実解明に着手した。児玉隆也著『この三十年の日本人』(新潮社刊、1975年(昭和50年)7月15日発行)の中に、戦時中江田島クラブ(海兵の生徒が休暇を過ごす民家)でレコードを聴いたという、海兵第71期生の帖佐 裕氏(元長崎親和銀行取締役)の談話が載っていることを知ったレコード各社は、詳しい事情を聞くため同氏を捜し出した。帖佐氏の証言で、海兵のボート潜艇訓練でこの唄が歌唱されていたことを確認し、幻のレコード捜しに着手した。日本コロムビアは、西条八十家の協力を得て同家の倉庫から、1939年(昭和14年)7月キングレコードから発売された「戦友の唄」(作詞西条八十、作曲大村能章、唄樋口静雄)のレコードを発見した。続いてこのレコードのB面の作家の遺族宅からも同じレコードが発見された。原告Y氏が1944年(昭和19年)に作詞、作曲したという主張はこのレコードの発見で覆された。1983年(昭和58年)6月、東京地裁判決の要旨は、二つの曲は同一の楽曲といえる程度に類似している、類似の程度からして前者と無関係に創作したということは、経験則上認め難い、原告作品

の楽曲は「戦友の唄」の楽曲に新たな創作性を加えたものとは認められない」というものであった。

「貴様と俺とは同期の桜、同じ……の庭に咲く」という歌詞の「……」の部分が当初、帖佐氏によって「海兵」と置き換えられて歌唱されたが、その後その場で様々に伝承され、歌われていたのである。



「戦友の唄」のレコードレーベルと歌詞カード

「戦友の唄」の原作詞は「君と僕とは二輪の桜同じ部隊の枝に咲く」というものであった。樋口静雄氏の歌唱も軍歌と言うより歌謡曲調のソフトなものであった。

⑦貸レコードの問題

東京三鷹に、大学生の発案で貸レコード店が出現したのは、1980年（昭和55年）6月である。貸レコード店は野火の如くまたたく間に全国に波及し、レコード業界に衝撃を与えた。翌年レコード会社13社は、大手貸レコード業者4社を、レコード製作者の複製権の侵害に当たるとして、東京地裁へレコードの貸与差止請求を提訴した。1982年（昭和57年）には貸レコード業と同時に発生した「音のコピー業者」に対して、店頭コピーサービスの中止を求め各地に訴訟を提起した。1984年（昭和59年）に至り各地の「音のコピー業者」に仮処分の決定が出された。

自民党は、1982年（昭和57年）頃からプロジェクトチームにより貸レコード問題を検討していたが、1983年（昭和58年）11月議員立法によりレコード製作者に貸与に関する許諾権を認める暫定措置法を成立させた。1984年（昭和59年）5月には、レコード製作者に貸与権と報酬請求権を認める著作権法改正法が成立した。同年6月にはさきの暫定措置法が施行された。貸レコード業者の団体、日本レコードレンタル商業組合が同年に設立された。この年、立法の動向にあわせて東京地裁から貸レコード訴訟に和解勧告が出され同商業組合と日本レコード協会との協議が開始された。1985年（昭和60年）1月、商業用レコードの貸与に関する著作権法改正法が施行され、暫定措置法が廃止された。同年6月、日本レコード協会（高宮 昇会長）と日本レコードレンタル商業組合（牛久保洋次理事長）と商業用レコードの貸与に関する使用料及び報酬に係る基本合意に達し協定書の調印が行われた。

1年後、合意条件の中で新人のレコード、年に1回程度しか制作しないアーティスト、いわゆる寡作アーティストのレコードやCDの取扱について第二期交渉がこじれ、貸レコード側は、レコード会社の条件を無視して使用料を供託しながら、貸与行為を続けた。

レコード会社の意思を代表してCBSソニーが1986年（昭和61年）4月、貸レコード業者4社に対するレコード貸与禁止仮処分申請を、東京地裁に提訴した。

同年11月にこの仮処分申請が認められ、保全の必要性から一部のレコードに貸与禁止処分が執行された。

1987年（昭和62年）にはレコード会社6社がCBSソニーに続いて貸レコード業者7社に対するレコード貸与禁止仮処分申請を東京地裁に提訴しレコード会社の共通の意思表示を行った。

1989年（平成元年）3月、東京地裁は、レコード会社の主張を認め、貸与権には禁止権が存在することを明示した。

その後レコードレンタルを所管する通産省、著作権法のもとで円滑な権利行使を期待する文化庁が、両者間の協議に参加し、解決への努力が図られた結果、1990年（平成2年）11月、新たな合意が成立し、翌年1991年（平成3年）7月、貸レコード訴訟も東京地裁の職権による和解が成立した。

日本レコード協会の貸レコード対策委員長として一貫してレコード製作者の貸与権確立に努力された小澤敏雄元日本レコード協会会長をはじめ、レコード協会のブレンとして訴訟対策に当たられた中村 稔、松尾和子、松井正道、城戸 勉、岡 邦俊、水田耕一、雨宮正彦の各弁護士、レコード業界製販一体化に協力された全国レコード商組合連合会矢島理事長、音楽産業を支え合う日本音楽著作権協会、日本芸能実演家団体協議会、ほか音楽著作権関係団体の結集された総意の結実が、音楽産業の危機を回避し、新しい秩序の形成に至ったのである。当初、レコード製作者の複製権に依拠して権利侵害を排除すべく立ち上がり、貸与権の確立に至った努力の成果と言える。

⑧私的録音報酬請求権問題

日本レコード協会が、私的録音問題に着目したのは、1963年（昭和38年）であった。この時はすなわち1971年（昭和46年）1月施行の著作権法の改正作業に着手された年であった。

当時の著作権法は、第30条（著作権の制限）で「既ニ発行シタル著作物ヲ左ノ方法ニ依リ複製スルハ偽作ト看做サス」とし、第1号で「発行スルノ意思ナク且器械的又ハ化学的方法ニ依ラスシテ複製スルコト」として私的複製を認めていた。しかし、複製技術の発達、複製機器の普及は、器械的、化学的複製を容易にし、当時でもタイプライターによる複製さえ、否定的であったこの条文自体の改正が先決とされ、手段を禁止するのではなく目的、範囲で制限すべきとの方向で改正が行われた。複写複製機器による複製を全て禁止することは、文化の発達を阻害することとなり、器械的、化学的複製についても目的、範囲によっては私的複製とすることは時代の趨勢と考えられ、現行著作権法第30条が制定されたのである。

日本レコード協会は、当時西ドイツにおけるテープレコーダーに対する報酬請求権制度に関心を持っており、法改正に際して器械的、化学的複製を認めると同時に録音機器への報酬請求権制度を導入すべきと考えていた。しかしながら著作権制度審議会は、改正の第

一段階として条文の不合理の改正が先決であり、その結果招来する事態は、それを見て第二段階として対応することとされたのである。

その後さらに録音技術、録音複製機器の急速な発達普及は予想を遙かに超える状況となった。テープ録音の増大は私的録音といえども重大な影響を及ぼす事態となった。

1991年（平成3年）11月、著作権審議会第10小委員会、審議結果を取りまとめ報酬請求権制度の導入を適当とした。同年12月、著作権審議会はこの小委員会報告を受けて、「私的録音問題協議会」の設置を定め、同時に「私的録音録画問題連絡会議」を組織した。日本レコード協会は「30条対策委員会」（委員長：乙骨 剛 東芝EMI社長（当時））を中心に対策を進めた。レコード会社は報酬支払者側電機メーカーの系列が多く、調整のために隠れたご苦労があり努力されたのである。日本レコード協会、日本音楽著作権協会、日本芸能実演家団体協議会が「録対協」として結集し総力を挙げて活動し、今日の制度化に貢献したのである。報酬請求権制度は著作権制度の中でも画期的制度として評価されたのである。

おわりに

レコード製作者の権利は、昭和45年の改正まで、著作権として保護されてきた。改正にあたり著作権隣接権制度の導入が論議され、いわゆるローマ条約への加入を横目で見ながら著作権から著作権隣接権への保護に移した。レコード製作者としては、制度にはこだわらず保護の内容を問題とし、レコード製作者の権利は全て排他的禁止権であるべきことを主張した。複製権については禁止権が付与されたが、二次使用料を受ける権利は報酬請求権にとどめられ、ローマ条約の水準による保護の均衡が図られたのである。

以上、レコード製作者の権利拡充のための幾つかのたたかの実績を記したが、その歴史の足跡を辿る材料の一部となれば幸いである。

おわりにあたり、レコードを愛するものとして、レコード製作者の権利が著作権として保護され、著作権と著作権隣接権の垣根が取り除かれる日の来ることを期待し、念願するものである。

当協会委員会担当委員長が決定

7月30日に開催された当協会理事会において、空席となっていた下記委員会の委員長が決定しましたので、他委員会と併せて報告します。

■委員長新任の委員会一覧

- | 委員会名 | 委員長名（社名）（敬称略） |
|---------------------------|---------------|
| ・ 予 算 委 員 会 | ：篠原 忠彦（C） |
| ・ 貸レコード対策委員会 | ：石坂 敬一（UM） |
| ・ マーケティング戦略会議（議長）／需要拡大委員会 | ：丸山 茂雄（SME） |
| ・ 日本ゴールドディスク大賞委員会 | ：飯田 久彦（TE） |
| ・ 音楽ギフトカード委員会 | ：後藤 豊（FL） |
| ・ 日 レ 商 懇 談 会 | ：荒井 善清（PI） |
| ・ 再販問題研究プロジェクト | ：池口 頌夫（K） |

■その他の委員会及び委員長名（社名）（敬称略）

- ・ 法 制 委 員 会：稲垣 博司（WJ）
- ・ 技 術 委 員 会：富塚 勇（V）
- ・ 二 次 使 用 料 委 員 会：齋藤 正明（TO）
- ・ J A S R A C 委 員 会：依田 巽（AVT）
- ・ 日本音楽家ユニオン委員会：岩田 廣之（UV）
- ・ 定 款 改 正 委 員 会：早川 恒夫（VAP）

- ・ デジタル音楽情報委員会：田代 秀彦（BMG）
- ・ S D プ ロ ジ ェ ク ト：稲葉 昭典（PC）

著作権・新技術フォーラム開催

当協会は、著作権法100年記念行事の一環として、10月7日、アジア／太平洋地域著作権・新技術フォーラムを開催します。

このフォーラムには、海外からIFPI、RIAA、アジア／太平洋地域の音楽産業関係者のほか、国内の関係省庁、関係団体、有識者、法律の専門家を招き、音楽産業を取り巻く環境の大きな変化の中で、アジア／太平洋地域における法整備状況がどうなっているのか、今後新しいデジタル技術と音楽産業の関わりはどのように変化するのか、等を検証します。

国際レコード技術会議開催

当協会及びIFPI、RIAAの3団体は、毎年開催している国際レコード技術会議を、著作権法100年の記念行事として、上記アジア／太平洋地域著作権・新技術フォーラムの開催時期と併せて、10月6日・7日の2日間亘って開催します。

世界の話題

IFPI in Numbers発行

IFPI(国際レコード産業連盟)がin Numbersを発行しました。この資料には、160ページに亘りレコード産業に関する統計データが収められています。その中で、以下のようにアジア市場の概観が述べられています。

1998年のアジアの音楽市場規模は78億米ドルで、世界売上げの20%を占めています。この地域は、主に2つの地区に分けられます。アジア市場の83%を占めている日本と以外の地域です。

昨年、日本は金額では増加、数量では2%減少しました。その他の地域は経済危機、増大する海賊版による大打撃を受け、市場全体ではドル建て金額で33%、数量で11%減少しました。

CDが市場の殆どを占める日本以外では、アルバムの約90%がカセットです。同地域のカセット売上げは、世界の52%を占め、特にインドは世界最大のカセット市場です。面白いことに、同地域におけるCDの市場占有率は、インドの1%から香港の98%まで様々です。また、インドネシアのようにCDの売上げが伸び、カセットの売上げが落ち込んだ国が数カ国あります。

日本のシングル市場は、世界最大で、1億4,400万枚に上りますが、他のアジア地域には目立ったシングル市場はありません。

日本を含め、アジアでは国内や地元のレパートリーが主流で、市場の75%を占めます。

人口一人あたりの年間アルバム平均購入枚数は、日本以外の地域では0.2枚で、世界平均の半分以上ですが、日本の購入枚数は、2.8枚です。

(IFPI in Numbers'99)

会議メモ (主なもの)

(8月1日～8月31日)

8・3 インターネット部会サイト運営WG
技術幹事会

8・4 権利の集中管理WG

8・10 レコード制作基準倫理委員会
需要拡大委員会WG

8・11 二次使用料委員会

8・18 業務委員会

8・19 私的録音問題WG
発売日検討委員会関係会議

8・20 権利の集中管理WG
営業部会

8・23 調査統計部会

8・24 インターネット部会

法制委員会
基礎知識講座プロジェクト

8・25 デジタル問題対策会議

8・26 JASRAC委員会
ビデオ部会

8・31 需要拡大WG



ドイツ、上半期音楽売上げの落ち込み

ドイツのレコード産業団体BPWによると、昨年同期に比べて、今年上半期のドイツでの音楽レコードの出荷は数量で9.8%減少、金額で9.9%の減少となりました。売上金額についての中間報告はありません。売上げ数の合計は昨年の1億2,700万枚に対し、1億1,450万枚でした。アルバム売上総数は、18.9%減少し、4,070万枚でした。BPWによれば、アルバムの落ち込みが今期の売上げ減少の大きな要素となっていますが、中でも中間価格帯のアルバムは21.4%減の1,250万枚と大きく落ち込み、低価格帯のアルバムは8.7%減の1,360万枚に縮小しました。

シングル市場は、いくつかの大ヒットにも拘わらず、3.5%減の2,490万枚となりました。DJ型のアナログ・シングルだけが、一筋の光となり20%増の60万枚でした。

BPWは、この市場の落ち込みを以下のように推察しています。「昨年の上半期に比べると、今期はフロントライン・アルバムのトップ・リリースが少なかったことが一因だろう。しかし、下半期のアルバム・リリース予定をみると、年間を通すとかなりの売上げ増が見込まれる。」

BPWの次回の理事会では、1月からの四半期ベースのデータを紹介することについて検討することになっているようです。IFPIの統計データに拠ると、1998年のドイツの音楽レコード市場は、27億ドルでした。

(ビルボード99/8/28)

HIT CHART DATA

1999年7月度(99年6月21日～99年7月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル BEST7				
1.	energy flow (ウラ8TT8)	坂本龍一	1999.05.26	WJ
2.	Fly	SMAP	1999.06.23	V
3.	toi et moi	安室奈美恵	1999.07.07	AVT
4.	太陽のあたる場所/Harlem Summer	V6/Coming Century	1999.07.14	AVT
5.	TOKYO	SADS	1999.07.07	TO
6.	ふるさと	モーニング娘	1999.07.14	EP
7.	最後のKiss	Kiroro	1999.06.23	V

■洋楽シングル BEST7				
1.	Eyes On Me featured in Final Fantasy VII	フェイ・ウォン	1999.02.24	TO
2.	21stセンチュリーガール	21stセンチュリーガール	1999.07.07	TO
3.	ビューティフル・ストレンジャー	マドンナ	1999.07.14	WJ
4.	ティアーズ・イン・ヘヴン	エリック・クラプトン	1997.10.25	WJ
5.	ワード・アップ	メルG	1999.07.16	TO
6.	メイク・ハー・マイン	ヒップスター・イメージ	1999.04.21	UM
7.	マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン～タイタニック・愛のテーマ～	セリーヌ・ディオン	1998.01.14	SME

■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7				
1.	ark	ラルク・アン・シエル	1999.07.01	SME
2.	ray	ラルク・アン・シエル	1999.07.01	SME
3.	Brotherhood	B'z	1999.07.14	BM
4.	GREATEST HITS 1990-1999	布袋寅泰	1999.06.23	TO
5.	BE TOGETHER	鈴木あみ	1999.07.14	SME
6.	MAKING THE ROAD	Hi-STANDARD	1999.06.30	PZ
7.	Cicada	槇原敬之	1999.07.07	SME

■クラシックアルバム BEST7				
1.	クラシカル・エバー1	3大テナー、マリア・カラス他	1999.06.23	TO
2.	クラシカル・エバー ララバイ	カラヤン指揮/ウィーン少年合唱団他	1999.06.23	TO
3.	カヴァティーナ	村治佳織	1999.11.21	V
4.	天使の歌声	シャルロット・チャーチ	1999.02.20	SME
5.	ヨー・ヨー・マ・プレイズ・ピアソラ	ヨー・ヨー・マ	1997.10.29	SME
6.	ヨー・ヨー・マ ベスト・アルバム	ヨー・ヨー・マ	1998.10.01	SME
7.	ラ・カモラ：情熱的挑発の孤独	アストル・ピアソラ	1999.06.23	WJ

■洋楽アルバム BEST7				
1.	リッキー・マーティン ～ヒア・アイ・アム	リッキー・マーティン	1999.06.19	SME
2.	シンクロナイズド	ジャミロクワイ	1999.06.07	SME
3.	Millennium	バックストリート・ボーイズ	1999.04.28	AVT
4.	ユーフォリア	デフ・レパード	1999.06.02	MME
5.	On The 6	ジェニファー・ロペス	1999.06.23	SME
6.	イツ・リアル	K-Ci&JoJo	1999.06.18	UV
7.	MEGA HITS' 99	ホイットニー・ヒューストン他	1999.06.18	BMG

※AL：アルファミュージック/AO：アムラ・オータウン・レコード/AR：アンティノスレコード/AVT：エイベックス/BG：ビーグラムレコーズ/BM：ルームスレコーズ/BME：バンダイ・ミュージックエンタテインメント/BMG：BMGファンハウス/C：日本コロムビア/CA：カナリー企画/CR：日本クラウン/CT：カットニング・エッジ/EP：ゼティマ/EW：イーストウエスト・ジャパン/FH：ファンハウス/FL：フォーライフレコード/JE：ジャニーズ・エンタテインメント/JF：J-FRIENDS P./K：キングレコード/KT：キティエンタープライズ/ME：メルダック/MME：マーキュリー・ミュージックエンタテインメント/PC：ポニーキャニオン/PG：ポリグラム/PI：パイオニアLDC/PO：ポリドール/PS：ポリスター/PZ：ピザ・オブ・デス・レコーズ/QT：パルコ/RO：ロックイットレコード/SME：ソニー・ミュージックエンタテインメント/SN：SEHNA & CO./TA：ニュートラス/TDK：TDKコア/TE：テイチク/TF：トイズ・ファクトリー/TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO：東芝EMI/UM：ユニバーサルミュージック/UV：ユニバーサル ビクター/V：ビクターエンタテインメント/VAP：バップ/VF：ヴェルファーレ/WJ：ワーナーミュージック・ジャパン/XR：ゼロ・コーポレーション/ZA：ザインレコーズ

■アルバム (24作品)

【邦 楽】

●2ミリオン

ark/ラルク・アン・シエル/1999.07.01
(SME)

ray/ラルク・アン・シエル/1999.07.01
(SME)

●トリプルプラチナ

ID/相川七瀬/1999.05.19 (CT)

Brotherhood/B'z/1999.07.14 (BM)

●ミリオン

GREATEST HITS 1990-1999/布袋寅泰/
1999.06.23 (TO)

●プラチナ

Crystal/DOUBLE/1999.06.02/ (FL)

MAKING THE ROAD/Hi-STANDARD/
1999.06.30/ (PZ)

Cicada/槇原敬之/1999.07.07/ (SME)

BE TOGETHER/鈴木あみ/1999.07.14/
(SME)

●ゴールド

Mustang!/Dragon Ash/1997.11.21/ (V)

PUNCH THE MONKEY! II/小西康陽 他/
1999.06.19/ (C)

FEVER ★ FEVER/PUFFY/1999.06.23/
(SME)

歌時記~サクラサク篇~/ゆず/1999.06.23/
(SN)

FINALE/Pierrot/1999.07.07/ (TO)

BIRDMAN SMAP 013/SMAP/1999.07.14/
(V)

【洋 楽】

●クワドラプル・プラチナ

シンクロナイズド/ジャミロクワイ/
1999.06.07 (SME)

●ダブル・プラチナ

アルマゲドン/オリジナル・サウンドトラック/
1998.07.01/ (SME)

Millennium/BACKSTREET BOYS/
1999.04.28/ (AVT)

●プラチナ

カリフォルニケーション/レッド・ホット・チリ・
ペッパーズ/1999.06.09/ (WJ)

リッキー・マーティン~ヒア・アイ・アム/リッキー・
マーティン/1999.06.19/ (SME)

●ゴールド

ビリーヴ/シェール/1998.12.23/ (WJ)

ベリー・ザ・ハチェット/クランベリーズ/
1999.04.14/ (MME)

モッズ・シーン/ヒップスター・イメージ他/
1999.04.24/ (UM)

スター・ウォーズ エピソード1 ファントム・メナ
ス オリジナル・サウンドトラック/ジョン・ウィ
リアムズ/1999.05.12/ (SME)

■シングル (13作品)

【邦 楽】

●ミリオン

energy flow (ウラ 8 T T 8) /坂本龍一/
1999.05.26/ (WJ)

●ダブル・プラチナ

Greatful Days/Dragon Ash/1999.05.01/
(V)

フラワー/KinKi Kids/1999.05.26/ (JE)

●プラチナ

Bye-Bye~バイバイ~/BLACK BISCUITS/
1999.05.26/ (BMG)

●ゴールド

あの紙ヒコーキくもり空わって/19 (ジュー
ク) /1999.03.20/ (V)

太陽のあたる場所/Harlem Summer/
V6/Coming Century/1999.05.19/ (ATV)

Fly/SMAP/1999.06.23/ (V)

最後のKiss/Kiroro/1999.06.23/ (V)

INORI/HITOE'S 57 MOVE/1999.06.30/
(TF)

TOKYO/SADS/1999.07.07/ (TO)

toi et moi/安室奈美恵/1999.07.07/ (AVT)

ふるさと。/モーニング娘。/1999.07.14/
(EP)

最後の果実/深田恭子/1999.05.19/ (PC)

レコード生産実績

1999年7月度(99年7月1日～99年7月30日)

数量 : 千枚・巻
単位
金額 : 百万円

表1. オーディオレコード

			7月実績						1999年(1月～7月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
C	8センチ	邦	6,992	19	56	4,583	9	58	63,702	25	62	40,216	12	63
		洋	10	0	7	4	0	5	458	0	61	284	0	67
		計	7,002	19	55	4,587	9	58	64,160	25	62	40,500	12	64
D	12センチ	邦	21,448	59	122	32,875	68	104	138,184	53	118	216,126	65	106
		洋	6,352	17	100	9,417	19	98	44,345	17	90	65,578	20	92
		計	27,799	76	116	42,292	87	103	182,530	71	110	281,705	85	103
D	小計	邦	28,440	78	94	37,458	77	95	201,886	78	92	256,342	77	96
		洋	6,361	17	98	9,421	19	98	44,804	17	89	65,862	20	92
		計	34,801	95	95	46,880	97	96	246,689	95	91	322,205	97	95
アナログディスク		邦	152	0	218	177	0	220	1,305	1	357	1,354	0	305
		洋	45	0	100	51	0	74	281	0	126	397	0	121
		計	198	1	171	229	0	152	1,586	1	269	1,750	1	227
合計		邦	28,592	78	94	37,635	78	95	203,191	79	92	257,696	78	97
		洋	6,407	18	98	9,473	20	97	45,084	17	90	66,259	20	92
		計	34,999	96	95	47,108	97	96	248,275	96	92	323,955	97	96
カセットテープ		邦	1,529	4	83	1,266	3	87	10,263	4	82	8,332	3	84
		洋	2	0	29	3	0	24	61	0	104	55	0	75
		計	1,531	4	83	1,269	3	87	10,324	4	82	8,387	3	84
総合計		邦	30,121	82	94	38,901	80	95	213,454	83	92	266,028	80	96
		洋	6,409	18	98	9,476	20	97	45,145	17	90	66,314	20	92
		計	36,530	100	94	48,377	100	96	258,599	100	91	332,342	100	95

表2. ビデオレコード

			7月実績						1999年(1月～7月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク			1,341	37	145	3,126	30	134	5,501	30	90	13,176	23	82
テープ			2,239	63	101	7,158	70	91	13,111	70	99	43,400	77	90
合計			3,580	100	114	10,284	100	100	18,612	100	96	56,576	100	88

表3. オーディオ/ビデオ合計

			7月実績						1999年(1月～7月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			36,530	91	94	48,377	82	96	258,599	93	91	332,342	85	95
ビデオ			3,580	9	114	10,284	18	100	18,612	7	96	56,576	15	88
合計			40,110	100	96	58,661	100	96	277,212	100	92	388,919	100	94

<参考>表4. 複合型CD (CD-G、CD-I、CD-ROMなど)

			7月実績						1999年(1月～7月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤			13,400	100	75	983	100	36	84,813	100	94	12,993	100	88
洋盤			0	0	0	0	0	0	6	0	14	16	0	12
合計			13,400	100	75	982	100	36	84,819	100	94	13,009	100	87

備考 1. 本年実績は、会員会社「21社」の集計である。当会員社が受託した非会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

1999年1月～6月新譜数

1999年（平成11年）の1～6月に発売された新譜数を集計し、その構成比率を図示しました。

図1 オーディオレコード新譜数構成比

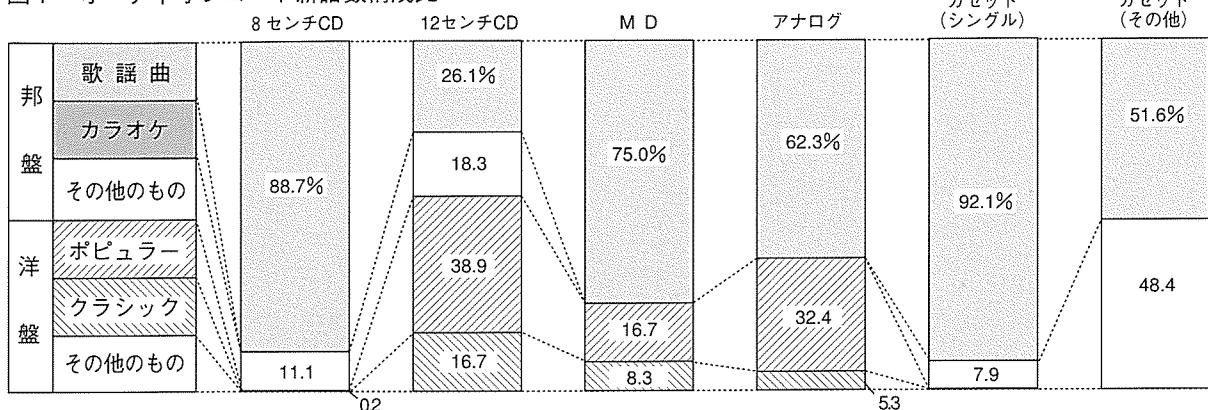


表1 オーディオ／複合型レコード（CD-G・CD-I など）新譜数

単位：枚・巻

種 類		8センチCD	12センチCD	M D	アナログ	カセ ッ ト		複 合 型		合 計
						シン グ ル	そ の 他	CD-G	そ の 他	
邦 盤	演 奏 歌 謡 曲	215	185	0	30	203	149	0	0	782
	ポ ッ プ ス 歌 謡 曲	234	344	0	10	47	26	0	0	661
	ニ ュ ー ミ ュ ー ジ ッ ク	394	1,136	9	89	5	3	0	3	1,639
	小 計	843	1,665	9	129	255	178	0	3	3,082
洋 盤	軽 音 楽	13	164	0	0	0	21	0	0	198
	民 謡 ・ 純 邦 楽	10	113	0	0	19	89	0	0	231
	教 育 ・ 教 材 ・ 童 謡 ・ 童 話	3	94	0	0	1	42	0	1	141
	ア ニ メ シ ョ ン	76	390	0	0	2	14	0	5	487
	ク ラ シ ッ ク	0	322	0	0	0	0	0	0	322
	カ ラ オ ケ	0	0	0	0	0	0	29	48	77
	そ の 他	3	84	0	0	0	1	0	30	118
	邦 盤 計	948 (76)	2,832 (106)	9 (26)	129 (143)	277 (82)	345 (86)	29 (56)	87 (79)	4,656 (94)
洋 盤	ロ ッ ク ・ デ ィ ス コ	1	1,459	2	22	0	0	0	1	1,485
	ジャズ・フュージョン	0	568	0	42	0	0	0	0	610
	ポ ピ ュ ラ ー ソ ン グ	1	280	0	0	0	0	0	4	285
	映 画 音 楽	0	113	0	2	0	0	0	0	115
	そ の 他	0	58	0	1	0	0	0	0	59
	小 計	2	2,478	2	67	0	0	0	5	2,554
洋 盤	ク ラ シ ッ ク	0	1,064	1	11	0	0	0	0	1,076
	そ の 他	0	2	0	0	0	0	0	0	2
洋 盤 計		2 (6)	3,544 (73)	3 (7)	78 (195)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	5 (36)	3,632 (72)
合 計		950 (74)	6,376 (84)	12 (15)	207 (159)	277 (82)	345 (84)	29 (56)	92 (74)	8,288 (83)

備考：（ ）内は対前年比

図2 ビデオレコード新譜数構成比

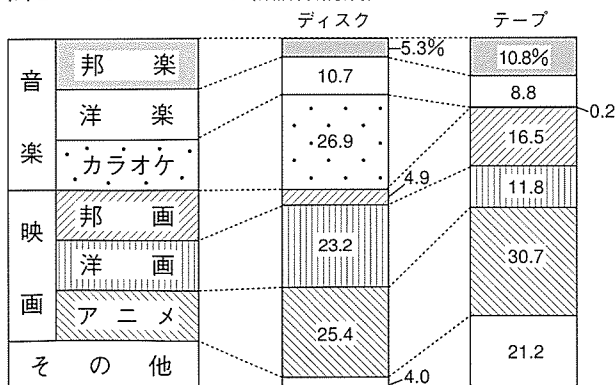
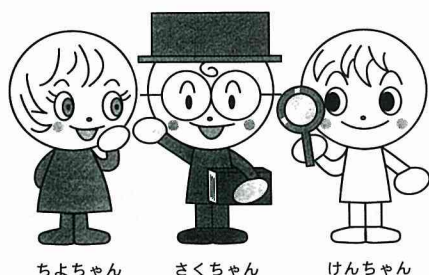


表2 ビデオレコード新譜数

単位：枚（巻）

種 類	ディスク	テープ	合 計
音 楽			
邦 楽	43	139	182
洋 楽	87	113	200
カ ラ オ ケ	218	2	220
映 画			
邦 画	36	212	248
洋 画	188	152	340
ア ニ メ	206	395	601
そ の 他	32	272	304
計	810 (106)	1,285 (100)	2,095 (102)

備考：（ ）内は対前年比



著作権法100年

copyright law centennial anniversary

RIA
Recording Industry Association of Japan

1999年9月号

発行人 池口 頌夫

編集人 木村 三郎

発行日 1999年9月10日

発行 社団法人 日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL.03-3541-4411 (代)

FAX.03-3541-4460 (代)

URL:<http://www.jmusic.ne.jp/>